

自然との触れ合い、実体験をことばで表現しよう

～国語科「書くこと」の指導と生活科を関連付けた単元づくり～



外出自粛や新しい生活様式への対応で、子供たちが自由に自然と触れ合う機会を設定することも難しくなっているのではないのでしょうか。各学校の年間指導計画を基に、国語科と生活科を関連付けた合科的な学習を工夫することで、限られた自然体験を、効果的な学びの場にしていきましょう。また、こうした体験を言葉でまとめる学習を臨時休業中の観察等につなげましょう！（3年生以上は、社会科、理科、総合的な学習の時間等とも関連）

【単元名】かんさつ名人になろう！！ いきものとなかよし

本単元に
関わる
主な指導事項

【国語科】経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。【B(1)ア】

【生活科】動物を飼ったり植物を育てたりする活動を行う(7)

【言語活動例】ア身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きたことを書く活動。

課題の設定

国語

校庭で、バッタを見つけたよ！

発見したことを伝えたいな。

生活科

みんなでお世話したいな。

学校や家のまわりのいきものをさがそう

体験とつなげる

家の周りや校庭等で見つけた生き物を観察し、観察記録に書いて交流する場を設定することで、子供たちの「伝えたいな」を引き出すことができますね！

学校や家のまわりにいるいきものをかんさつして、友だちに知らせよう！

情報の収集

友だちに知らせるいきものを選ぼう

家で育てている動物や植物を選んでもいいですよ。

知らせたいいきものの絵や
見つけたことをメモに書いて交流しよう

国語のポイント

観察記録を書くための材料を集め、
伝えたいことをはっきりさせて書く

生活科のポイント
動植物に関心をもって
働きかける

観察とつなげる

観察する生き物を撮影することで、繰り返しじっくり観察することができ、観察記録につなげることができますね！

整理・分析

ICTの活用

見つけた生き物をタブレット等で撮影し、拡大したり動画を見たりしながらじっくり観察する。

メモ・交流の工夫

・撮影した生き物の写真を印刷し、気づきを付箋に書いて写真に貼る。
・付箋を貼った写真を見せながら交流する。

見つけたいきものをかんさつしよう

どんな色かな？
どんな形かな？
どのくらいの大きさかな？
えさを食べているときの様子は？
からだに変化はあるかな？

・さわったらやわらかかったよ。
・同じトノサマバッタなのに色が違うよ。

見つけたいきものとなかよくなるよう

どんな物を食べるのかな。 手を近づけると後ずさりするよ。動きがすばやいな。

種類によって見つけたところが違うね。飼い方に違いはあるのかな。

まとめ・表現・振り返り

観察記録を書いて声に出して読みかえそう

・読み返して直すところはないか確認しましょう。
・友達や家の人に聞いてもらって、アドバイスをもらいましょう。

「こんないきものみつけたよ！
はっぴょう会」をしよう

学校や家のまわりにいるいきものについて
つたえるために、どんなことをかいたかな？

学校や家のまわりにいるいきものとなかよくなれたかな？

学んだことを
生かそう

ほかのいきものについても知らせたいな！

家庭学習とつなげる

観察記録の書き方（観察の視点）をしっかり
と指導しておけば、分散登校や臨時休業になったときも、自分（家）で書くことができますね！

学びをつなげる

発表会の方法も
一工夫！例えば…

廊下等に掲示した記録文を読み合い、感想を付箋に書いて交流する。（他のクラスや学年の友達からの感想もいいですね。）

タブレット等で発表の様子を撮影しておき、電子黒板等で共有する。

学級通信等に掲載して保護者からコメントをもらう。